

事業者向け 児童発達支援 自己評価

児童デイえがお大宮

事業所番号:1156508457

実施日: 令和5年11月27日

締め切り: 令和5年12月11日(月)

住所: さいたま市大宮区上小町787-6

電話: 048-783-4621

運営会社: YOSHIDA合同会社

代表: 吉田常子

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	事業所の 実施事項、改善目標、工夫点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	9	2	0	気持ちが高揚した利用者が室内を走り回り、室内全体がざわついたり、不穏な状態となった際には、気分転換の観点から、散歩やドライブに出かける等の状況に応じた施策をとっています。
	2	職員の配置数は適切であるか	11	0	0	利用者数に応じた支援員の基準人員を満たし(利用者10名に対し有資格指導員2名)、かつ、児童の個別特性に合ったきめ細かい支援が出来るように必要に応じて支援員を増員していきたいと思ひます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がなされているか	8	2	1	普段から危険個所の点検をし、危険個所はその都度対策を講じています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10	1	0	定期的に職員の中で支援方法を話し合い共有しています。今後も対応等、話し合いそれぞれの子どもたちにあつた支援をしていきたいと思ひます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	11	0	0	保護者のアンケート調査を実施しています。結果を会議し業務の改善につなげています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11	0	0	事業所として自己評価を实地し、その結果による改善の内容・施策等を事業所のホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	3	1	第三者による外部評価の実施していません。今後、別事業所での関りを積極的に考えております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	0	0	外部研修は、積極的に参加しています。職員同士での社内研修も実施しています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	11	0	0	職員内での会議と保護者様との面談等を行い個別支援計画書を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	0	1	標準化されたアセスメントツールを使用し子どもの発達状況を記録しています。更新の都度職員間で情報共有を行います。

適切な支援の提供	11	個別支援計画には支援に必要な項目が適切に選択され、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	0	保護者とのモニタリングを踏まえ、子供の発達状況に応じた具体的な支援の目標・内容を設定しています。
	12	個別支援計画に沿った支援が行われているか。	11	0	0	個別支援計画に沿って支援を実施しています。新しく入社した職員への情報共有も進めています。
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	11	0	0	常勤社員だけでなくパート社員も含めて広く意見やアイデアを交換し、職員全員でプログラムの立案が出来るような雰囲気づくりをしています。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	1	0	職員間で意見を出し合い、国内外の行事を取り入れながら、子どもたちの興味を引くような新しいプログラムを考えています。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	11	0	0	個別の発達状況に応じて、それぞれの自立に向けた療育と共に、集団生活における社会性を身に付けられるように個別支援計画を作成しています。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	2	1	職員の出勤時間が異なり、支援開始前に全員揃って打ち合わせをすることが難しいので、掲示板やスタッフノートを利用して情報の共有を図っています。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	3	1	送迎等で職員の出社時間が異なるため全ての職員で終了時の打ち合わせが難しいので、掲示板やスタッフノートを活用して、その日の反省点・問題点の共有を行っています。
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	1	0	個別に実績記録表、日々の活動内容、連絡帳を用いて支援内容、状況等を記録・保管し、支援の改善につなげています。
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援・放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断しているか	11	0	0	6か月ごとのモニタリングの機会を設け、支援内容の見直しを行い、保護者の要望、子供の成長・発達の状況を反映した支援計画を作成しています。
	20	ガイドランの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	10	1	0	日々の支援活動において、自立支援、創作活動、地域との交流等の基本活動を複数組み合わせる支援を行っています。
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子ども状況に精通した最ふさわしい者が参画しているか	10	1	0	障害児相談支援事業所等からサービス担当者会議への参加要請があった場合には適切なスタッフが参加しています。尚、電話等で子どもの状況・様子の確認を受けた場合には丁寧に詳しく対応しています。	

関係機関や保護者との連携

22	学校や幼稚園、保育所等の関係機関と情報共有等(年間計画・行事予定等の交換、子ども下校時刻確認)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	11	0	0	学校や幼稚園、保育所等との情報共有、連絡調整は必要に応じて適宜行っています。また、送迎時には先生から子どもたちのその日の様子を聞き、健康状態や気持ちの状況を確認しています。
23	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	7	1	現在、医療的ケアの必要のある児童の受け入れは行っておりません。今後の受け入れ予定もありません。
24	利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	11	0	0	必要に応じて、保護者の同意を得た上で関連機関との情報交換を行っています。
25	学校に入学する場合、または、学校を卒業し放課後等デイサービス事所から障害福祉サービス事業等へ移行する場合、それまでの支援内容等情報を提供する等しているか	11	0	0	一部の学校とは必要に応じて情報交換を行っています。今後も保護者や学校からの要請に基づき情報の提供や交換を行っていききたいと思います。
26	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	10	1	0	児童発達支援センター等とは必要に応じて電話などで支援方法や発達状況について意見交換をしています。また、セミナー研修には必ず参加しています。
27	保育所、認定こども園、幼稚園、放課後児童クラブ、児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	4	1	活動プログラムの一つとして科学館や児童館、公園等へ行き、障害のない子どもたちと触れ合う機会を持っています。
28	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	4	1	(地域自立支援)協議会へは参加していませんが、社会福祉協議会主催の研修等へは積極的に参加しています。
29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	11	0	0	送迎時の対話や連絡帳・などでお子様の様子を伝えています。活動の様子を写真(LINE)で送らせていただいています。
30	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	8	2	1	保護者に対してのペアレントトレーニング等の支援はまだ十分ではありません。今後家庭連携支援等を利用し、子どもたちの課題を保護者と共有し、療育方法について話し合っていきたいと考えています。
31	重要事項説明書、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行ない、作成した個別支援計画について保護者から同意を得ているか	11	0	0	契約時、保護者に対して重要事項説明書などを使い、支援内容、サービス提供時間、利用者負担額、個人情報の取り扱い等について丁寧に説明し、同意の上契約して頂いています。
32	保護者からの子育て悩み等に対する相談に適切応じ、必要な助言と支援を行っているか	11	0	0	定期的なモニタリングの際に療育の悩み等をお聞きし相談に乗っています。また、連絡帳・電話・メール等により相談を受けた際には他の職員と相談しながら丁寧に対応・助言をしています。

保護者への説明責任等	33	父母の会活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	8	1	現在、父母の会はありません。保護者アンケートの結果に基づき、設立の予定もありません。芋ほりやバス遠足等の保護者参加型イベントを増やし、保護者同士の交流を深められるようにしていきたいと思います。
	34	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	0	0	苦情に対して対応責任者、受付担当者を任命し、苦情があった場合には迅速かつ丁寧に対応し、保護者に電話または文書にて改善施策を提示しています。場合に依りて自宅に訪問し面談報告することもあります。
	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	0	0	月一回会報(えがお便り)を発行し、次月の月間プログラムやデイでの様子をお知らせしています。また、必要に応じて、連絡事項や依頼事項を保護者に対して配布することもあります。
	36	個人情報に十分注意しているか	11	0	0	個人情報の漏洩防止、管理を全職員に徹底しています。また、全職員が入社時に個人情報漏洩防止の念書を提出しています。個人情報漏洩防止に関する社内研修も行っています。
	37	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11	0	0	言葉をうまく話せない子に対してはジェスチャーを用いて意思疎通を図っています。
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等域住に開かれた事業運営を図っているか	4	6	1	コロナ禍が明けた現在も地域住民との関りは希薄なままです。今後は以前のように近くの老人施設や近所の方との交流を持てる機会を設けたいと考えています。
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	2	0	マニュアルを策定し、職員間での周知を図っています。また、ホームページや文書による保護者への周知も図っていききたいと思います。さらに、定期的なマニュアルの見直しも進めていきます。
	40	非常災害の発生に備え、定期的避難救出その他必要な訓練を行っているか	11	0	0	地震・火災・水害の避難訓練をマニュアルに従って実施しています。
	41	虐待を防止するため、職員の研修機会確保する等、適切な対応をしているか	11	0	0	月一回、事業所ごとの内部研修と、全体で行う虐待防止・身体拘束適正化委員会を実施し、問題の早期発見・対応に努めています。
	42	事前にてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10	1	0	現在、てんかん発作のある利用者はいませんが、発作発生時の対応については日頃から研修をしていきたいと思っています。
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	11	0	0	身体拘束に対するマニュアルを制定、虐待防止・身体拘束適正化委員会を月一回実施しています。なお、食事中など身体を支えるため身体拘束が必要と認められる児童には、保護者への説明・同意のもとで同意書に捺印をいただいています。

44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	1	0	保護者から意思の指示書に基づいた説明を受け、その説明に従って対応しています。
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11	0	0	都度ヒヤリハット報告書等を作成し、職員間で情報を共有したうえで保管しています。作成数は増えてきていますが、情報共有化のツールとして更に活用していきたいと考えています。